

行政事業レビューシート (文部科学省)

予算事業名	体力向上の基礎を培うための幼児期における実践活動の在り方に関する調査研究		事業開始年度	平成19年度		作成責任者
担当部署	スポーツ・青少年局		担当課室	参事官(体力づくり担当)		参事官(体力づくり担当) 坂元 謙次
会計区分	一般会計		上位政策	子どもの体力の向上		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	スポーツ振興法第3条 国は、(省略)ひろく国民があらゆる機会とあらゆる場所において自主的にその適正及び健康状態に応じてスポーツをすることができるような諸条件の整備に努めなければならない。		関係する計画、通知等	スポーツ振興基本計画 (平成12年9月13日策定、平成18年9月21日改定)		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	幼児期に習得しておくことが望ましい基本的な動作(走る、跳ぶ、投げる等)や危機回避能力等を身に付けるためのプログラムの実施、正しい生活習慣を身に付けるための効果的な取組などについて実践的な研究を行い、その成果を全国に普及する					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本事業内で実施する基本的な動作(走る、跳ぶ、投げる等)を身に付けるためのプログラムや正しい生活習慣を身に付けるための取組などの実践活動の成果を検証するため、「子どもの体力テスト」や「保護者・教員に対する生活実態調査」を実施し、その結果を集計・分析するとともに、基本的な動作の習得状況を分析する。					
実施状況	○実践活動地域(市町村)数 20地域 ○子どもの体力テストや保護者・教員に対する生活実態調査の集計・分析 1社 ○基本的な動作の評価 1社					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	75.4	75.3	71.2	0	-
	執行額	47.2	60.1	56.9		
	執行率	62.6	79.8	79.9		
	総事業費(執行ベース)	47.2	60.1	56.9		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	事業の進捗状況や実施内容の適切性、参加者の活動状況等については、委託先担当者が集まる全国連絡会議の開催や文部科学省担当者による事業実施会場の視察等により、定期的に把握している。 また、委託事業完了報告書に添付される証拠書類(収支簿、見積書、納品書、請求書等)を検査することにより、事業の経費について適切な執行がなされているか確認を行った上で委託額の確定を行っている。				
	見直しの余地	当事業は平成21年度で廃止し、本事業で得た研究成果を踏まえて、平成22年度より幼児期の運動指針を作成することとしている。				
予算チームの効率化	本事業の当初の目的は達成されたと判断し、平成21年度をもって廃止している。					
補記	【関係する計画等の詳細】 ○スポーツ振興基本計画(平成18年9月21日 改定) 1. スポーツの振興を通じた子どもの体力向上方策 人間が発達・成長し、創造的な活動を行っていくために必要不可欠なものであり、「人間力」の重要な要素である子どもの体力について、スポーツの振興を通じ、その体力低下に歯止めをかけ、上昇傾向に転ずることを目指す。 ○教育振興基本計画(平成20年7月1日 閣議決定) 昭和60年頃から長期的に低下傾向にある子どもの体力を上昇傾向に転じさせ、昭和60年頃の水準への回復を目指す。					

文部科学省  
56.9百万円

諸謝金 0.7百万円  
職員旅費 0.3百万円  
委員等旅費 0.3百万円 を含む  
庁費 4.2百万円

〔幼児期に習得しておくことが望ましい基本的な動作(走る、跳ぶ、投げる等)や危機回避能力等を身に付けるためのプログラムの実施、正しい生活習慣を身に付けるための効果的な取組などについて実践的な研究を行い、その成果を全国に普及する〕

【一般競争入札・委託】

【一般競争入札・委託】

B. (株)小野商事  
5.5百万円

C. (株)日経リサーチ  
4.7百万円

〔7つの基本的動作についてそれぞれ5つの動作場面を評価基準に基づき評価を行う〕

〔子どもの体カテスト等の集計・分析〕

【公募・委託】

A. 市町村教育委員会(全20市町村教育委員会)  
41.2百万円

〔○基本的な動作(走る、跳ぶ、投げる等)を身に付けるためのプログラムの実施  
○正しい生活習慣を身に付けるための取組などの実践活動  
○子どもの体カテストや保護者・教員に対する生活実態調査の実施〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。使途と費目の  
 双方で実情が分かるように記  
 載)

A.多治見市教育委員会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	実践活動必要品(ボール・マット等)	1.2			
諸謝金	実践協議会委員出席謝金、実技指導謝金等	1.0			
雑役務費	体力テスト、質問紙調査データ入力等	0.4			
旅費	実践協議会委員出席旅費、実技指導旅費等	0.3			
その他	報告書印刷費等	0.1			
計		3.0	計		0
B.㈱小野商事			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	基本的動作の評価・分析	5.5			
計		5.5	計		0
C.㈱日経リサーチ			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	体力テスト等の集計・分析	4.7			
計		4.7	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

## 「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

A: 基本的な動作を身に付けるためのプログラムの実施等

---

	支出先	支出額(百万円)
1	多治見市教育委員会	3.0
2	鈴鹿市教育委員会	3.0
3	山梨市教育委員会	3.0
4	中城村教育委員会	2.8
5	豊中市教育委員会	2.8
6	川西市教育委員会	2.6
7	いすみ市教育委員会	2.5
8	南アルプス市教育委員会	2.3
9	柏原市教育委員会	2.3
10	坂出市教育委員会	2.3
	その他	14.6
合計		41.2